



～ 平田ロータリークラブ 週報 ～ No.1875 (平成 25 年 2 月 7 日)



2012-2013 年度

国際ロータリー会長 / 田中 作次

2690地区ガバナー / 森田 昭一郎

会長 / 黒田 昌弘

幹事 / 釜屋 治男

副会長 / 飯塚 大幸

会計 / 河原 治子

■ 平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816

URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■ 例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
2月 7日	出雲税務署 署長 足立治男様	お酒の話 あれこれ
2月14日	島根県議会議員 園山 繁 様	最近の政治情勢について
2月21日	全会員	創立40周年全体会議

■ 出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
40	29	11 (4)	80.56 %	86.49 %

■ 欠席者 ■

高砂 / 原孝 / 大谷 / 園山 / 福田 / 石原 / 園
(山根 / 牧野 / 木村 / 田中久)

■ 来訪者 ■

1/31 佐藤・加藤(出雲) 池淵(出雲中央) 岩成(大社)
原田・伊藤・小玉・勝部・錦織・西本(出雲南)

■ メークアップ ■

1/31 桐原(松江東)

■ 次回例会受付当番 ■

(2月21日) 板垣文江 / 堀江卓男 / 飯塚大幸

(2月28日) 原 泰久 / 飯塚詔男 / 石原輝男

■ 近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう) ■

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	松江南 1/28
火	出雲	松江しんじ湖 1/29 2/12
水	大社	松江 1/30
木		松江東 1/31
金	出雲南 1/25	

■ 会長挨拶 ■

ロータリーとは何か

ロータリーの終局の目的は、人間関係を改善することによって、よりよい社会を創り、平和な世界を築くために貢献することです。

その人間関係を改善するためには、一人一人の人間の善意を呼び起こし、奉仕の理想を発揮することが必要です。

ロータリーでいう「奉仕」とは、「相手の身になって、思いやりと友愛で、相手と共にやっていく」という考え方をいい、この奉仕の精神は人間同士が深い信頼と友情によって結ばれた時に初めて発揮できるものです。ここに、ロータリー運動の出発点は親睦活動によることを確認します。

この親睦の実を最も効果的にあげる方法として、ロータリーは職業分類による会員によってクラブを組織します。そして、例会出席によって親睦が生まれ、そこから奉仕の理想が高揚されますので、この例会は、ロータリー独自の集会といえます。

こうして生まれた奉仕の精神を実践に移すにあたっては、会員の誰もが職場という身近な舞台を持っています。ここに職業奉仕が生まれます。これがロータリーの本質であり、また、社会奉仕、国際奉仕の出発点となります。

■ 幹事報告 ■

1. ロータリーレートの変更のお知らせ

2 / 1より 1ドル88円 (現行82円)

2. 森本信一ガバナー・エレクト、鳥居 滋地区ロータリー財団委員長より
地区夢計画合同セミナーのご案内

日 時 2 / 17(日) 受 付 13:00 ~

会 議 13:30 ~ 16:00

出席者 次期会長・次期幹事・次期R財団委員長

当クラブより飯塚大幸・佐々木哲也・加藤昇会員出席致します。

新入会員候補者の紹介

土江光二様 S44.3.13 生

有限会社 土江重機 代表取締役

クラブ細則第13条第5節により 意義のある方は本日より7日
以内に書面をもってお申し出下さい。

■ 委員会報告 ■

会員増強・会員維持委員会 : アンケート調査お礼。

更なるご協力をお願い

出席・親睦委員会 : 2月の会員誕生・

ご夫人誕生・結婚記念祝い



■ スマイル ■

黒田・釜屋 (足立署長様ようこそいらっしゃいました。

スピーチよろしくお願い致します。)

大島治 (足立署長様ようこそいらっしゃいませ。)

佐々木 (全国的にも、また平田地域でもインフルエンザが大流行しています。皆さんも十分ご注意ください。私も会員の皆さんにつづすことのないよう気をつけます。)

■ スピーチ・例会行事 ■

「お酒の話 あれこれ」

出雲税務署 署長 足立治男様



固い税金の話ではなく、お酒の話をして

いただきました。まず、お酒のルーツ。「口か

み酒」もうひとつは、「さる酒」です。どちらも、

いわゆる唾液の酵素で造られたもの。神話の「ヤマタノオロチ」の中で「八塩折の酒」を飲む場面がある。このお酒ですが、漢字の意味より「八」...たくさんの、「塩」...発酵させ熟成させたもの、「折」...くちかえしする、という意味のもので、たくさんの実を発酵・熟成させ、それを何度も

繰り返して造ったお酒ではなかったかと、とても甘みのあるお酒かと思われれます。お酒の神様について、平田には佐香神社があり、ここはその年にできた新米で、日本でその年の一番早くお酒(どぶろく)を造り、

神前にお供えする神社です。酒造りの祈願(酒造りの安全、いいお酒ができるため)に参ってから国内の酒蔵メーカーはお酒造りを始められるという流れがあるようです。酒造免許を持つ神社は広島国税局管内で 4 社ありその内2社が出雲大社と佐香神社です。その他、酒税の歴史やお酒の分類、気になるところですが、それぞれのお酒1本にはどれぐらいの税がかかっているのかなど、説明をいただきました。ちなみに、ビール350mlは77円です。一年で何本ぐらい飲まれるかで納税額がおおよそ計算できます。たくさん飲めば、高額納税者ですね。